

# 11. 重要資源育成支援事業

戸澤隆・鈴木洋行・松本尚之

本県沿岸域における重要資源について、対象とする魚種や海域の特性に応じた種苗放流及び資源管理を組み合わせた取組により資源の早期回復を図る。

## I. トラフグ

本年度は有明海当歳魚に加え、県単独事業の放流群について、外海域（1～10歳魚）の効果と有明海産卵親魚（2～10歳魚）の放流効果について推定した。

### 1. 標識放流の概要

長崎県漁業公社で生産された人工種苗320,000尾全てに耳石標識（ALC）と左胸鰭全切除標識を施し、平成28年7月8日～28日の期間に5回に分けて小長井漁港に放流した（表1）。

表1 放流結果

回次	放流日	放流場所	放流尾数	放流サイズ (mm)	外部標識
1	7月8日		80,000	78	
2	7月15日		80,000	75	
3	7月20日	小長井漁港	65,000	78	左胸鰭切除
4	7月21日		64,000	76	
5	7月28日		31,000	-	
合計			320,000		

### 2. 有明海における当歳魚の放流効果調査

当歳魚で漁獲される放流魚について漁獲実態調査と追跡調査を実施し、効果を推定した。

#### 方法

**漁獲実態調査** 8～3月の期間における4市場3漁協の漁獲尾数、漁獲量、漁獲金額を月別・市場別に集計した。

**追跡調査** 当歳魚が水揚げされる全市場において、無作為に抽出した標本を購入し、胸鰭切除標識と耳石標識の有無から放流魚の判別を行った。これらのデータを基に月別・市場別に放流魚の混入率を求め効果を推定した。

#### 結果

**漁獲実態調査** 本年度の有明海における当歳魚の漁獲尾数は16,388尾（対前年比22.7%）、総漁獲量は2.4t、総漁獲金額は4,536千円と推定された。

**追跡調査** 当歳魚の調査尾数は計2,615尾、標本抽出率は16.0%であった。これらの標本から検出された当事業の標識魚は178尾で、放流効果の各指標（混入率、回収尾数、回収率、回収金額）の推定値を表2に示した。

表2 放流効果指数

混入率 (%)	回収尾数	回収率 (%)	回収重量 (kg)	回収金額 (千円)
30.7	1,140	0.36	189	323

回収率は0.36%と推定され、過去の当歳魚の平均的な回収率15%を大幅に下回った。この要因は放流の時期の遅れと考えられた。

### 3. 外海域における放流効果調査

9月以降に五島灘等の外海域で漁獲加入が予想される平成18～27年度放流魚を対象とした調査を、山口、福岡、佐賀県と連携により実施し、効果を推定した。

#### 方法

**追跡調査** 福岡魚市場や長崎県の大瀬戸漁協、志々伎漁協等において、不定期に出荷物の全長測定と左胸鰭切除標識の有無を調査した。

#### 結果

**追跡調査** 平成28年度の結果については現在解析中であり、平成27年度に調査した8,993尾の結果を基にした効果推定値を表3に示した。

表3 放流効果指標

放流年	年齢	回収尾数	回収率 (%)	回収重量 (kg)	回収金額 (千円)
18	10		0.00	0	0
19	9		0.00	0	0
20	8	34	0.02	156	960
21	7	6	0.00	26	116
22	6	110	0.02	403	2,121
23	5	190	0.04	598	3,284
24	4	1,194	0.24	3,011	14,618
25	3	2,442	0.49	4,516	21,248
26	2	2,549	0.80	2,959	15,338
計		6,525		11,669	57,685

### 4. 有明海における産卵親魚の放流効果調査

3～5月に有明海湾口で漁獲された産卵帰帰した放流魚の漁獲実態等を調査した。

#### 方法

**追跡調査** 長崎県の西有家町漁協、有家町漁協に水揚げされた漁獲物の全長測定と左胸鰭切除標識の有無を目視で判定し、漁獲物の全長から年齢を推定した。

## 結果

**追跡調査** 2漁協で592尾を調査した結果、左胸鰭切除標識魚114尾が確認された。これらの年齢別漁獲尾数は2歳魚40尾、3歳魚29尾、4歳魚27尾、5歳魚8尾、6歳魚5尾、7歳魚1尾、8歳魚1尾、9～10歳魚3尾と判定した。

## II. クエ

持続的な生産を図るため、県内5海区で実施する種苗放流等についての助言・指導とともに漁獲実態調査を実施した。

### 1. 標識放流

長崎県栽培漁業センターで生産した種苗3万尾を標識付けし、11月9日から12月2日にかけて県内5海区で放流を実施した(表4)。

表4 放流結果

海区	放流日	放流尾数	放流サイズ (mm)	外部標識	内部標識
西彼	11月28・29日	6,000	151.3	右腹鰭切除	ALC1回
県北	11月17日	6,000	144.3	両腹鰭切除	-
五島	11月30日	6,000	151.1	左腹鰭切除	ALC1回
杵岐	11月9日	6,000	146.9	左腹鰭切除	-
対馬	11月22日	6,000	146.9	右腹鰭切除	-
合計		30,000			

## 2. 漁獲実態調査

### 方法

普及指導センターと連携して関係漁業等の漁獲量を聞き取りにより調査した。

### 結果

平成28年度の長崎県漁獲量は約154トンと推定され、前年度比で158%の大幅な増大となった。

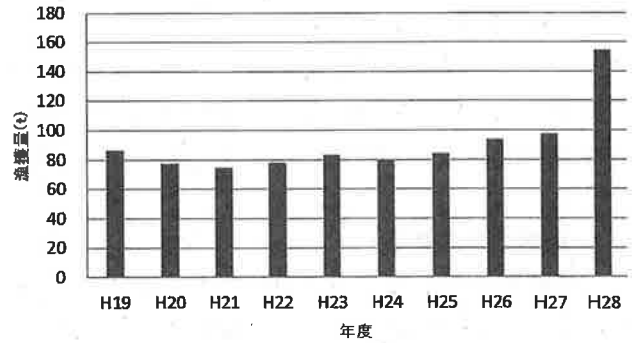


図1 長崎県クエ漁獲量の推移

(担当：戸澤)